会 議 録

会議の名称	平成29年11月6日開催政策会議			
開催日時	平成29年11月6日(火曜日) 午前9時00分から			
刑准口时	午前11時30分まで			
出席者	区長、岡田副区長、宮崎副区長(途中参加)、教育長(途中退席)、世田谷総合支所長、北沢総合支所長、玉川総合支所長、砧総合支所長、烏山総合支所長、政策経営部長、総務部長、地域行政部長、区長室長、生活文化部長、保健福祉部長、都市整備政策部長、教育次長、区議会事務局長(途中退席)			
審議概要	塚戸小学校増築棟の整備方針(案)について 教育委員会事務局 【意見等】 今後の課題として、大規模化しているエリアの教室増、学区域の調整などについて、どう対応す 1			
	【審議結果】 付議事案を了承とする。			
審議概要	ほっとスクール「希望丘」の開設について教育委員会事務局			
	【意見等】 鑑文に事業の理念やビジョンを書き込んだ上で、活かしたい民間ノウハウについて具体的な内容 2 にすること。			
	【審議結果】 付議事案を了承とする。			
審議概要	世田谷区空家等実態調査の結果及び(仮称)世田谷区空家等対策計画 (骨子案)について 【意見等】・管理不全な空家等の対策と空家等の利活用はこれまで個別に検討をしてきたが、空家等対策計画として、それらをまとめて出すことは考えているかという質問に対し、今回実施した空家等実態調査では、現場確認による建物等の状況のほか、アンケート調査で利活用の意向なども調査した、調査の結果を踏まえ、空家等対策計画としてまとめていきたいと考えているとの説明があった。・空家等実態調査で得た結果をどのように使っていくかが重要である、空家等対策計画を実施する体制として、庁内外の関係各所との連携を強く進めるとともに、各関係所管にもこの計画をよく見てほしいとの意見があった。・空家等対策を進めるにあたり、専門家等の力をどのように借りるかという具体的なイメージはあるかという質問に対し、東京都は、弁護士会、司法書士会、信託銀行など、専門家団体や企業と協定を結んでおり、世田谷区もそうしたところとの協定の締結など、連携について検討している、また、空家等の相談に応じる窓口を設置し、相談内容に応じて、関係所管や専門家を案内する仕組みの構築なども検討しているとの説明があった。 【審議結果】 付議事案を了承とする。			
審議概要	(仮称)世田谷区立下北沢東自転車等駐車場の指定管理者の選定結果 土木部 【意見等】 ・シルバー人材センターの経営状況はどのように改善していくのかという質問に対し、職員採用や事務所の改築工事等で計画外の支出があったことや、公益財団法人のため資産を保有できないという事情があるためこのような結果になったが、今後は計画的に経費削減をし、収支相償に近づけていくとの答弁がシルバー人材センターよりあった、との説明があった。・障害者差別解消法が制定され、選定委員も障害者等の雇用計画について高く評価できるとしているため、今後はこうした点を評価項目として独立させる必要があるとの意見があった。 【審議結果】 付議事案を了承とする。			

		世田谷区立総合福祉センター条例を廃止する条例について 世田谷区立保健センター条例の一部を改正する条例について 【意見等】	障害福祉担当部 保健福祉部	
審議概要	5 • 6	・区立総合福祉センターの廃止と機能移行に向けては、利用者や関係団体に対し重ねて説明を行っており、今後も丁寧な対応に努める旨の説明があった。 ・区立保健センター条例は、まず、平成31年に総合福祉センター機能の一部を保健センターへ移行するための改正を行うが、平成32年の梅ヶ丘拠点への移転に向けては、条例名(施設名)についても検討すること。 【審議結果】 ・付議事案を了承とする。		
			== #Δ 7= 7·L ΩΠ	
審議概要	_	区立特別養護老人ホーム等のあり方検討の方向性について 高齢福祉部 【意見等】 ・区立特別養護老人ホーム等3箇所4施設は、平成33年4月に設置者を区から社会福祉法人へ移行(民営化)する方向性をまとめた旨の説明があった。 ・民営化後も区から法人へ一定の支援を行い、区立施設として提供してきたセーフティーネットの役割等を含めた事業展開を求めるにあたり、区立特別養護老人ホームの今後の役割を分かりやすく整理すること。 【審議結果】 ・付議事案を了承とする。		
		区民集会施設の利用拡充に向けた公共施設運用の見直しについて	地域行政部	
審議概要	8	【意見等】 ・利用者端末機について、不便になったという声が出ないようにすること。 【審議結果】 ・付議事案を了承とする。		
備考				
所 管 課 (会議録作成所管)	政策経営部 政策企画課			